

徳島県立西部防災館の指定管理候補者の選定結果について

1 申請団体名及び選定委員会における選定結果

施 設 名	申 請 団 体 名	選 定 結 果	総合評価
徳島県立西部防災館	四国開発土木株式会社	指定管理候補者	適

（選定理由）

四国開発土木株式会社は、西部防災館の設置目的を的確に把握し、これまで同館の指定管理業務を通じて培ったノウハウを活かし、災害時及び平常時の業務について適切な方針を持つなど、明確な管理運営方針を有している。

効率的な管理運営のため、防災に関する有資格者を配置し、自社による講習会の実施など、明確な運営方針を示している。

また、地域の経済雇用への貢献や、西部健康防災公園内の他施設との連携についても、効果的な施設管理が提案されている。

こうした点を総合的に判断し、施設の設置目的の達成に寄与することが期待できることから、四国開発土木株式会社を指定管理候補者に選定した。

2 選定委員会委員

役 職	氏 名
徳島大学教授 環境防災研究センター副センター長	上月 康則
徳島大学教授 人と地域共創センター長	田中 俊夫
阿波池田商工会議所 副会頭	谷 尚美
徳島県社会保険労務士会 顧問	米澤 和美
公認会計士	真鍋 恵美子
徳島県西部総合県民局地域創生観光部次長	大西 純司

3 選定の経緯

令和 7 年 7 月 1 7 日

第 1 回選定委員会

（募集要項の承認、審査基準及び選定要領の決定）

7 月 3 1 日

募集要項等の公表、関係書類の配布開始

9 月 3 日

現地説明会の開催

9 月 1 6 日～1 0 月 2 日

申請書類受付

1 0 月 1 6 日

第 2 回選定委員会

（書類審査、面接審査、指定管理候補者の選定）

4 指定管理候補者の提案内容

審査項目	提案内容												
県民の平等な利用の確保と施設の効用の最大限の発揮	・ 利用者のニーズを把握するため、施設利用者へのアンケートを実施し、展示物やイベント、講座に反映した企画をすることで、更なる利用促進を図る。 ・ 普及啓発事業について、チラシの配布、ホームページ、SNS等により広報を実施する。 ・ これまでの管理運営のノウハウや、各種団体との繋がりを活かした自主事業を行う。 ・ 安全管理マニュアルを作成し、日常的に訓練を行うことで、災害対応力の向上を図る。												
効率的な管理運営 (経済性の追及)	・ 安全管理、美化対策、設備点検、修繕、管理体制について、平常時から災害時を見据えた維持管理を行う。 ・ 外注と自社管理の効率的なバランスを考慮しながら人員の配置を行い、費用の抑制を図る。 ・ 指定管理料は、5年間で148,005千円（税込） (単位：千円) <table><tr><td>年度</td><td>R8</td><td>R9</td><td>R10</td><td>R11</td><td>R12</td></tr><tr><td>指定管理料</td><td>29,645</td><td>29,590</td><td>29,590</td><td>29,590</td><td>29,590</td></tr></table>	年度	R8	R9	R10	R11	R12	指定管理料	29,645	29,590	29,590	29,590	29,590
年度	R8	R9	R10	R11	R12								
指定管理料	29,645	29,590	29,590	29,590	29,590								
安定した管理のための 人的・物的経営基盤の状況	・ 施設長を含む正規職員4名とパート職員を配置し、それぞれの職能に応じ業務を分掌する。運営の適切性維持のため、セルフモニタリングを実施する。 ・ 平成30年度より令和7年度まで継続して西部防災館の管理運営を行っている実績がある。 ・ 財務状況は健全である。												
その他、地域への 貢献及び連携等	・ 職員及び関連従業員のすべてを県内から雇用し、取引先も県内企業を優先することで、地元経済に貢献する。 ・ 近隣施設との協働事業や相互の施設利用、資機材の相互貸借等の連携を図る。												